

九州情報大学大学院

経営情報学研究科

経営情報学専攻（博士前期課程）

2025 年度(令和 7 年度) 入学試験

秋期募集

論述問題

専攻するコースにより 1 科目を選択し、解答用紙に解答しなさい。

《経営・マネジメントコース》

経営学

経済学

《税法・会計コース》

税法学

会計学

《情報・データサイエンスコース》

情報学

解答時間

60 分間

《税法・会計コース》

3. 「税法学」

以下の設問①～④の中から2つ選択し、解答しなさい。

なお、解答に当たっては、それぞれ冒頭に、選択した設問番号を記した上で解答すること。

【設問①】

税法において定められている納税義務の成立要件を課税要件というが、課税要件にはどのようなものがあるか、その内容について述べなさい。

【設問②】

法の意味内容を明らかにすることを法の解釈というが、税法の解釈方法にはどのようなものがあるかを述べなさい。

【設問③】

租税負担を軽減ないし排除する方法として、いわゆる「節税」、「租税回避行為」、「脱税」があるが、それぞれの内容について違いを述べなさい。

【設問④】

加算税（過少申告加算税、重加算税等）の趣旨・目的及び内容について述べなさい。

4. 「会計学」

以下の問から1問を選択し、解答しなさい。

4－（1）

会社経営上、資産、負債および資本（純資産）の関係性について述べなさい。

4－（2）

減損ないし減損処理に対して、法人税法（法人税基本通達を含む）はどのように対応しているかを述べなさい。その際、法人税法上の固定資産の評価損に関する規定及び減価償却との関係について言及すること。

《情報・データサイエンスコース》

5. 「情報学」

以下の問から 1 問を選択し、解答しなさい。

5－（1）

私たちの情報が自由に活用されることにより、便利なサービスが増える一方、プライバシーの保護も非常に重要になっています。たとえば、SNS では情報を簡単にシェアできますが、その一方で個人情報漏洩するリスクも存在します。情報の自由な流通と個人のプライバシー保護のバランスをどのように取るべきかについて論じ、解決策を述べてください。

5－（2）

AI を活用した顔認識技術は治安維持や犯罪防止に利用されていますが、特定の人種や外見に対して誤認識する可能性があります。たとえば、AI のバイアス問題により、黒人やその他のマイノリティの顔を正確に認識できず、誤って犯罪者として識別される事例が報告されています。このバイアス問題を回避するため、データサイエンス（DS）の観点から、AI の倫理的利用に関する具体的な解決策を述べてください。